

ネオリバー #400



一般塗膜対応剥離剤 浸漬仕様（非ジクロロメタン）

ネオリバー #400 は、ジクロロメタンを含まない塗膜剥離剤です。油性、水性、ラッカーなど一般合成樹脂系塗膜はもちろんメラミン、アクリル樹脂系の塗膜に対して効力があります。常温で浸漬して使用します。ジクロロメタンを使用した製品に比べて環境にやさしく、即効性は劣りますが蒸発も緩やかで剥離能力が長時間持続します。

性 状	外 観	無色～淡黄色透明 液体
	臭 気	微アミン臭
	p H	12.4(50%水溶液、代表値)
	比 重	1.0(20℃代表値)
	燃 焼 性	90℃
	金属腐食性	銅、亜鉛以外は影響ありません。
剥離性能	有 効 塗 膜	一般合成樹脂系塗膜、メラミン、アクリル樹脂系塗膜
	参考剥離時間	90分～ 常温～50℃加温 塗膜厚は標準 1回塗り。 多層塗膜の場合(治具など)は 24時間～

使用方法

1. 使用前に缶を軽く振り均一になるように攪拌してください。
2. 剥離槽はポリエチレン、ステンレス(304,316)製が適しています。
剥離槽内に籠(バケツ)を用意し、この中に剥離対象物を入れて作業をすると効率的です
3. 剥離剤を容器(剥離槽)に投入後、シールオイルを3～5cmの層ができるよう注入します。目安は液表面積 1㎡当り 20～30ℓです。冬場、液温が低い場合は 50℃までの加温ができます。
4. 剥離対象物を完全に浸漬し、塗膜が軟化膨潤するか、浮き上るのを確認してから引き上げてください。
5. 槽から引き上げる時は、液切りを十分にしてください。圧力水などで塗膜を洗い流してください。出来れば専用の水洗槽を設置して予備洗いしてください。再度浸漬して剥離する場合は、被剥離物の水分を出来るだけ取り除いて下さい。必要以上に水分が入ると剥離能力が低下します。
6. 槽内に塗膜カスが増えると剥離能力が低下し、剥離剤の入れ替えが必要になります。定期的に塗膜カスを除去してください。作業を行わない時は槽にフタをして蒸発を防いでください。

荷 姿 16kg 石油缶(18L サイズ)



三彩化工株式会社

<http://www.sansai.com>

ISO 9001・14001 認証取得

本 社 ・ 工 場

本社・工場 〒531-0076 大阪府大阪市北区大淀中 3-5-30

大阪(営) TEL 06-6451-7851(代) FAX 06-6451-1187

東京(営) 〒273-0002 千葉県船橋市東船橋 1-29-15

東船橋ウエルズ 21 B号室

TEL 047-455-3711(代) FAX 047-455-3722

名古屋(営) 〒454-0013 愛知県名古屋市中川区八熊 1-3-10

TEL 052-321-2051(代) FAX 052-322-3790

広島(駐) TEL 090-3357-9824

ネオリバー #400

作業上の注意

1. 取扱作業は火気のない所で行なってください。また絶対に沸騰させないでください。
2. 有機溶剤を含有していますので使用に際しては風通しのよい場所か、十分な換気を行ってください。
3. 剥離剤が皮膚・粘膜にふれないように、ブチルゴム系手袋、保護メガネ、蒸気を直接吸い込まないように有機溶剤用ガスマスクなどの保護具を着用ください。
4. 皮膚に付いた場合は直ちに大量の石けん水で洗い流し、痛みがある場合は医師の手当てを受けてください。
5. 目に入った場合は直ちに大量の水で洗い医師の手当てを受けてください。
6. 蒸気、ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は、新鮮な空気の場所で安静にし、必要であれば医師の手当てを受けてください。
7. ポリエチレン、ポリプロピレンを除くほとんどの樹脂、ゴムなどを変形、溶解させます。
8. 水洗時に回収された塗膜と水洗水は有資格産業廃棄物処理業者にて処理願います。
9. 直射日光や高温を避け、冷暗所に正立保管してください。

関係法令

消 防 法	第 4 類 引火性液体第 3 石油類 危険等級 III (指定数量 2,000L)
労 働 安 全 衛 生 法	該当 (SDS を確認ください。)
有 機 溶 剤 中 毒 予 防 規 則	非該当
毒 物 及 び 劇 物 取 締 法	非該当
化 学 物 質 管 理 促 進 法	該当 (SDS を確認ください。)
水 質 汚 濁 防 止 法	生活環境項目
廃 棄 物 処 理	産業廃棄物

その他の適用法令及び詳細な注意事項につきましては SDS をご参照ください。